



ブラジリアの風



↑教会創立60周年感謝礼拝

教会創立60周年を迎えて

私が仕えているブラジリアアライアンスキリスト宣教教会は1960年の遷都（リオ→ブラジリア）と共に宣教をスタートし、昨年で60年の節目を迎えました。コロナ禍で昨年実施できなかった60周年記念感謝礼拝が10月23日に開催、120名が集いました。息子たちが通っていたマッケンジー校の広い講堂を借りて、キングス・キッズ「アガペー」のダンスグループ結成10周年も兼ねて行われました。



初代宣教師であった二宮睦子師は愛媛県の松山協同教会から派遣されブラジリア教会を開拓し36年の奉仕を終えて永久帰国されましたが、今なお98歳でご健在、ブラジルへの祈りは尽きません。二宮宣教師の働きをまとめた10分ほどのビデオ「遺

産～愛と犠牲の物語～」が作成されましたので、以下のリンク／QRコードからご覧いただけます。

<https://youtu.be/aNyyXOMZeTs>



ビデオの最後に登場する二宮先生の言葉に強く心を打たれました。「（ブラジルは）人種差別のない国…日本人ということでイジメられたりしたことはなかったね。みんなから優しく親切にされて…。特にイエス様を信じている兄弟姉妹は…（抱擁のジェスチャーをされて）広～い心で受け入れてくれる、ですから私はブラジルが大好きです！…今でももう一回ブラジルに行きたい気持ちがあります。」目頭を押さえて涙をぬぐわれる二宮師の心には、ブラジルへの熱い思いが生き続けています。それは、二宮師を選び、ブラジルに召された神ご自身の思いでもあるのでしょう。異国ブラジルに移民として渡った同胞の声なきうめきを「マケドニアの叫び」と確信して、当時治安もインフラも悪かったブラジリアを宣教地を選び、生涯独身を貫いて献身されました。

その信仰の遺産は次世代に手渡され、現在、安井敏明エドワルド牧師、弘子夫人が教会を牧会し、私

↑久しぶりの習字教室「神」

も同じ思いをいただいて、このブラジリアで宣教師として仕えさせていただいています。

10,11月は久々の習字教室で「神」の一文字。回数を重ねるごとにお手本に倣うことを会得していく生徒たちの柔軟さと潜在能力に驚いています。私自身も「お手本」であるキリストの御そば近くをいつも歩みたいと祈られています。毎月の訪問や礼拝説教、オンラインでの日本語クラスやキラキラ会（高齢者会）など、機会を十分に活かして神の恵みを語り続けたいと願っています。

2021年も支援者の皆さまの尊いお祈りとおさげものをありがとうございました。迎えるクリスマスと新年に主の確かな守りと平安がありますように。

浜田献、陽子 2021.12月

【祈り】

- ・長男マリオの大学受験の祝福
- ・家族の健康と経済
- ・パンデミックの収束とブラジリア教会の祝福を！
- ・12月18日予定のヴァルゼンボニータでのクリスマス会の祝福



「浜田宣教師指定」献金者一覧（2021年8-10月）

波崎キリスト教会、いこいのある教会、相馬キリスト福音教会、豊田神池キリスト教会、くずは聖書教会、蛭池聖書教会、渡辺賢治、町田南キリスト教会、安城中央キリスト教会、グレイスハウス教会、石神井福音教会、碧南聖書教会、青島恒宣、追浜聖書教会、総和キリスト教会、光の森聖書教会、松戸福音教会、村瀬基樹、国立キリスト教会、但見亮、新鎌ヶ谷聖書教会、青木栄一、土浦めぐみ教会、鞭木由行、矢作キリスト教会、竹内豪・里子、生駒めぐみ教会、愛宕山教会、匿名2名（敬称略）

（8-10月合計）508,900円

累計 2,396,753円

「2021年目標額:260万円」←当初目標額170万円が補正されました。療育費、治療費、税金等が増加したためです。

皆さまの尊いおさげものを心から感謝申し上げます。

*2022年は特に教育・療育費、保険適用外の治療費、所得税（収入の27.5%）などが予測され予算が倍増しています。
お祈りいただけますと感謝です。

2022年目標額: 350万円（現地支援を含む）